



森田アルミ工業株式会社

エクステリアデザインの 改革者

オーダーメイドで 規格外品に対応

「機能はもちろん、デザインにも優れたものをつくる」。森田アルミ工業の森田和信社長はこう語る。アルミを材料としたテラス、バルコニー等のエクステリアや階段等の製造・施工を行う同社。昭和47年の創業当初は、「鉄からアルミへ素材が移行しはじめた時代」に対応したペランダ手すり等を手がけた。アルミは表面処理を施すと錆びないため、外での設置が多いエクステリアで大変重宝され、飛ぶように売れたという。

続けざまに、建設現場等で状況に応じて自在に角度調整ができる階段「ステアーズ」を開発。それまでの製品は敷地の事情等により現場で利用できないことがあったが、ステアーズは現場の状況に合わせて43・5〜64・5度まで角度調整ができるようにしたものだ。

テラスやバルコニー、アルミ手すり



等のエクステリアは、すべてオーダーメイドで対応。一件ずつ、条件に合わせて自社で施工する。大手メーカーは既製品で対応するが、同社は規格外品も提供。単に決まった製品を組み合わせるだけでなく、柔軟性を持たせる。「重要になるのが営業マン。受注するだけでなく、営業マン自らが土地の寸法を測ったり、バルコニーなら強度や構造を計算のうえ、CADで設計するまでを行います」。営業マンの手腕が決め手になると森田社長は言う。

デザイン性も重視した 室内階段やパーティション

エクステリアは見た目も大事だ。同社は外部のデザイナーと協力し、デザインの追求にも積極的だ。そのひとつ室内階段「TAS」は、アルミをベースにガラスや木材のステップを使用したスタイリッシュなデザインの階段で、価格は1500〜160万円と値は張るが、「ひとりでも多くの人に共感してもらええるデザイナーのものを提供したい」との思いからつくったという。「TAS」は住宅リフォームをテーマとするTV番組にも取り上げられ、大きな反響を呼んだ。

アルミフレームをベースにファブリックカバーを着せ替えることができるパーティション「faice」は、平成17年にグッドデザイン賞特別賞を受賞。ホワイト、グレー、オレンジ、レッドの4色のカラーバリエーションを揃え、パーツの組み合わせで個人のデスクパーティションからイベント用ブースまで多様な用途に対応できるなど、フレキシ

シブルな構造が国内はもちろん海外でも好評という。

「日本のエクステリアはデザイン面で少し遅れています。住宅購入者の中心層は20〜30歳代に若返りしていることもあり、今後はよりデザインが重要視されてくるでしょう。家は一生もの。時代を超えて使っていただけのものをつくってほしい」。住宅の在り方をデザインから変革する、同社の意気込みを感じる。

森田アルミ工業株式会社

Company
Profile

住所 / 〒599-0201
大阪府阪南市尾崎町530-1
創業 / 昭和47年4月
設立 / 昭和58年7月
資本金 / 3,000万円
従業員 / 44名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-480-1400
FAX / 072-480-1414



<http://www.moritaalumi.co.jp/>



森田和信さん
代表取締役社長

主な事業内容

エクステリア製
品・アルミ建材
製品の開発・製
造・販売・施工
等